

三重県東日本大震災支援本部 第25回本部員会議 概要

- 1 開催日時：平成28年9月9日（金）10:25～10:40
- 2 開催場所：県庁3階プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●説明、☆意見）

1 各部署の取組について

(1) 平成28年度の取組

- 防災対策総務課長 資料1により説明

2 現地派遣職員による活動報告について

「平成27年度 宮城県への派遣における報告」

- 松阪建設事務所事業推進室道路二課 村林主任 資料2により説明

(知事からの指示事項)

- ・東日本大震災から5年が経過し、被災地では、住宅の再建などの工事がピークを迎えており、それに伴い、一部の地域を除いて応急仮設住宅の供与期間が来年3月に終了するなど、被災者支援の内容も転換期に来ている。
- ・県内には、未だ445名（8月末現在）の避難者がいらっしゃるが、被災各県からの地元へ帰るかどうかの意向確認などが始まっており、今後どうしていくか決めかねている被災者からの相談などが増えてくることが想定されるので、引き続き必要な情報が確実に届くようにしていくこと。
- ・復興は着実に進みつつあるものの、これからもまだまだ時間がかかると思われるので、復興の新たなステージに応じた支援を行っていく必要がある。
- ・現在被災地に派遣している6名の職員が存分に復旧・復興業務に打ち込めるようにするために、引き続き、側面からのサポートを十分にしていくこと。
- ・8/13-14に女川町を訪問し、須田町長や学生の応援部隊等と意見交換を行ってきた。懸命な努力や効果も上がっているが、まだまだ道半ばという印象であった。
- ・須田町長からは、「ビジョンを考えたり、どのようにやっていくかを検討してから工事などに取りかかることができるのは、2～3年経ってからで、その間、住民の皆さん等には、全然動きがないように見えてしまう。具体的に取りかかるまでの時間をいかに短くするのが大事である。」という話があった。
- ・三重県では復興指針を策定しているが、改めて中身の共有を今一度図り、備えとして東日本大震災を教訓として改めて肝に銘じてほしい。